

分裂策動は許さない！！ 地本OB会見解！！

東京地本・水戸地本・八王子地本の一部指導部による分裂策動を許さず盛岡地本・組合員と連帯してたたかう盛岡地本OB会の見解

- ・18春闘によって大量離脱組合員を生み出してしまった現実から新生JR東労組運動を創造している過程で、2018年4月以降100名を越える仲間が再結集した。
 - ・東京、水戸、八王子地本内の一部運転職場で2020年2月10日分裂組織の結成が報じられた。2月10日は、定期中央委員会開催であり直前の分裂策動である。定期中央委員会において自ら招いた18春闘「大敗北」の「指導責任隠蔽・組合費の杜撰で不正な地本組織運営」が明らかになるのが恐れた彼らは逃亡を企てた。
 - ・隠蔽や不正が行なわれていないのであれば中央委員会で堂々と真実を議論すればよい。「不誠実な真実」は、組織破壊、分裂策動の歴史的教訓から必ず敗北する。
 - ・新組織の結成に「入るか」「残るか」「未加入か」三者択一は、その内容から組合員への脱退強要であり18春闘で組合員に多大な損失を与えた一部指導者の自己保身であり組合員の利益は守ることはできない。そもそも加入の可否はそこに存在する組合員に選択する権利がある。組合員に加入の強制を求めることは、必ず組合員を不幸にする
 - ・労働組合は組合員とその家族の幸せのため「職場を守り仕事を守り生活を守る」ために闘うのである。そのために常にリーダーは組合員に献身的であり、組合員と共に汗をかかなければならない。傲慢でウソと隠蔽と恫喝の組織運営は組合員を萎縮させ、組織は腐敗する。分裂策動による組織破壊の歴史から学ばなければならない。
 - ・盛岡地本OB会は、この30年間「国鉄改革」を成し遂げるために未知の運動を職場から創り「血と汗と涙」で「三本柱」を担い「組合員の職場と仕事と生活を守り」組合員の信頼を築き強固な組織の連帯を創造してきた。
- 「国鉄改革」の苦難の道を切り拓き指導し実践を頂いた多くの先達を失った。しかし、その偉大な遺志は脈々と生きている。われわれが創り上げた国鉄改革を否定する分裂策動による組織破壊は絶対許さない。
- 「決めたことは守り、約束を守り、ウソをつかない」温もりのある盛岡地本全組合員＝盛岡地本OB会は、更に連帯を強化し、ゆるぎない団結と信頼を基本にJR東労組・組織を未来永劫、残していくために一丸となって闘うことを決意し見解とする。

2020年2月28日
盛岡地方本部OB会

OB会と共に連帯し、組織分裂を許さず
新生東労組運動を共に創り出そう！！